

令和3事業年度決算の概要

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構

Japan Expressway Holding and Debt Repayment Agency

トピックス ～損益の状況～

1. 経常収益 1兆7,800億円 (前年比+1,241億円)

- 各高速道路会社からの道路資産貸付料収入は1兆7,477億円 (前年比+1,255億円) となりました。

2. 経常費用 1兆4,376億円 (前年比+294億円)

- 道路資産貸付業務費は、資産の減価償却費の増加等により、1兆1,115億円 (前年比+247億円) となりました。
- 財務費用は、現下の低金利状況を活かした資金調達を行ったことにより2,556億円 (前年比▲75億円) となりました。

3. 経常利益 3,423億円 (前年比+947億円)

- 道路資産貸付料収入の増加等により経常利益は増加しました。
- 新型コロナウイルス感染症の影響が緩和したことにより、各高速道路会社の交通量が昨年度に比べ増加となり、料金収入が増加しました。

トピックス ～資産・負債の状況～

4. 資産総額 **43兆5,749億円**（前年比▲7,556億円）

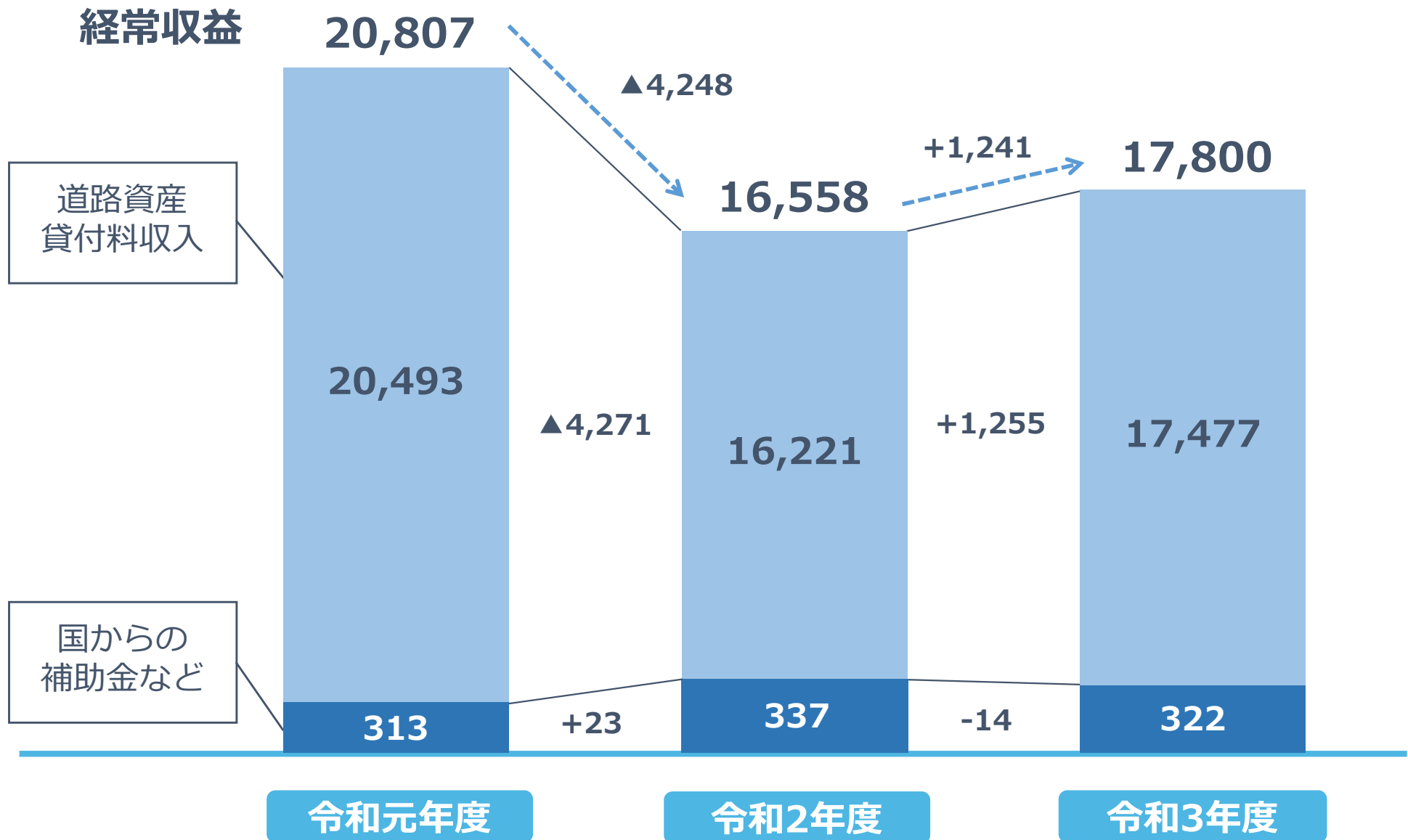
- 流動資産は、財政融資資金8,000億円を借入れたこと等により2兆507億円（前年比▲7,976億円）となりました。
- 固定資産は、近畿自動車道伊勢線（名古屋西～飛島）の開通等があり、41兆5,242億円（前年比+419億円）となりました。

5. 負債総額 **29兆3,080億円**（前年比▲11,199億円）

- 負債は、財政融資資金の借入れにより増加した一方、機構債の償還等により減少しました。
- これらを踏まえた上で、債務の確実な返済を確認しています。

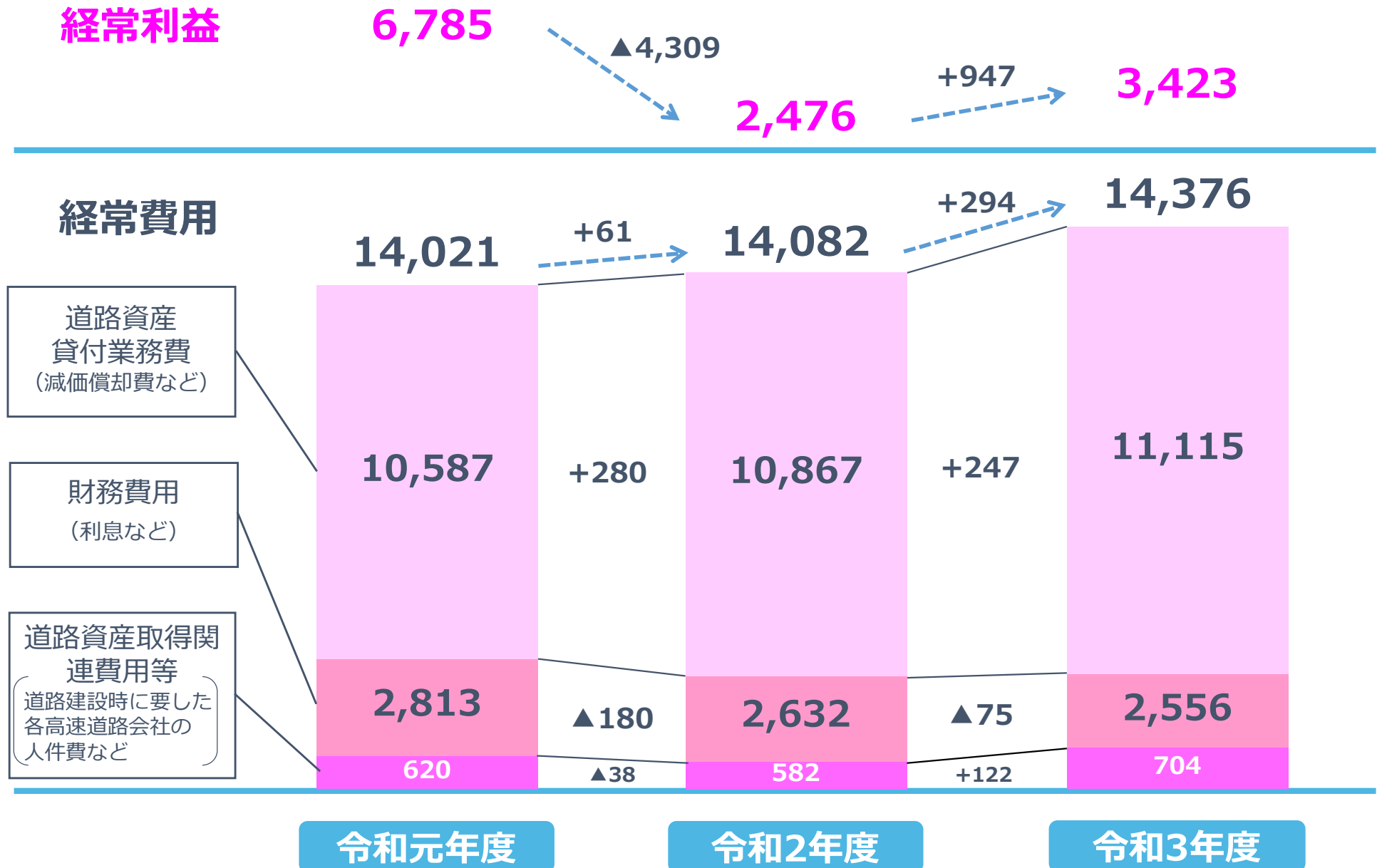
経常収益の前年比較

(単位：億円)



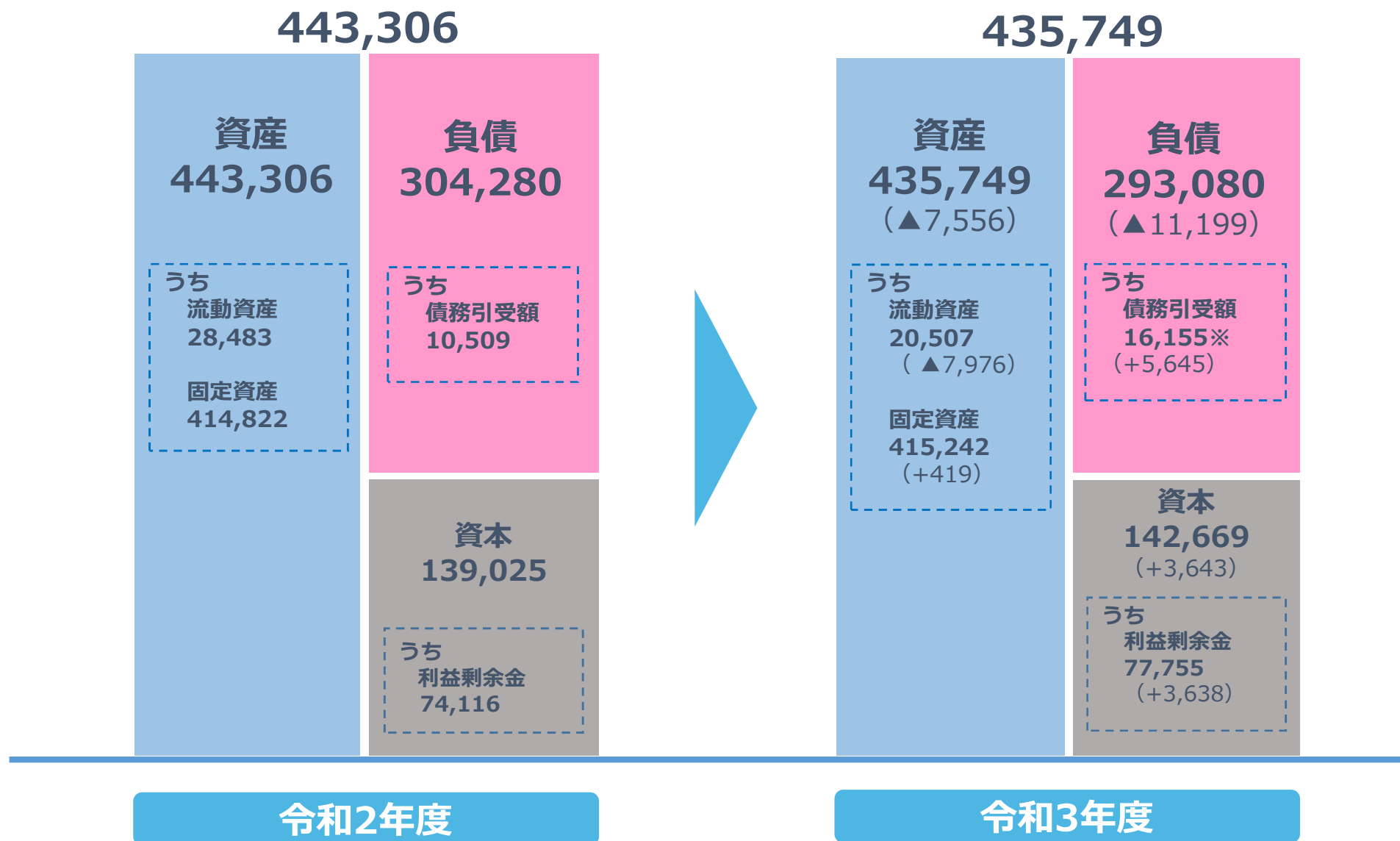
経常利益と経常費用の前年比較

(単位：億円)



貸借対照表の前年比較

(単位：億円)



※金額は、法人単位財務諸表（PDF）の
長期借入金及び機構債の明細（20ページ目）に掲載しています。